

## 「防犯の大切さ」

栗原市立鶯沢小学校 4年

三浦 穂奈美さん

今、テレビでは、いろいろなじけんがおきています。いろいろな物がぬすまれたり、ゆうかいされたり、大きなじけんが毎日、放送されています。自分の家や家族を守るためには、日ごろからいろいろなことを考え、実行しなければいけません。

学校では、不しん者にそなえて、防犯訓練をおこなっています。学校の中に知らない変な人が入って来た時、自分達の身を守るためには、どのように行動したらよいかを勉強します。

学校だけではありません。自分の家でもしている防犯があります。

一つ目は、家族で出かけるときは、ちゃんとドアのかぎをして、ねんのために二階のまどもかぎもたしかめます。わたしの家は、文字であらとざわの近くにありますが。通る車も少なく、歩いている人も少ないです。だからといって、ゆだんをしてどろぼうに入られたら大変です。家族みんなで声をかけ合って、戸じまりに気をつけています。

二つ目は、もし悪い人が家に入って来た時ほうちょうやナイフがすぐ目につかないように、あぶない物は、目につかない場所にかくしています。使った後もすぐかたづけておきます。

三つ目は、地いきの工夫です。どこかとおくに出かける時は、どろぼうが入ってこないように、近所の人にたのんでるす番をしてもらいます。どろぼうは、いろいろ考えて、わたし達の大事な物をぬすんでいきます。それをふせぐためにいろいろな工夫をしているのです。防犯カメラもたくさんの場所につけています。犬をかって、あやしい人が来たら

「ワンワンワン。」

とほえるように教えている人もいます。

家のまどのガラスもなかなかかわれないようにじょうぶなガラスを使って、どろぼうが家の中に入ってこれないようにもしています。

わたしが、感心したのは、ぶつかると音が出る物をいっぱいかくして置いていることです。かんの中にビー玉を入れて、ひもでつるして、足がひっかかると、ガラン、ガランと音が出るしくみになっています。

(すごいアイデアだなあ。これなら、あやしい人が来てもすぐ分かるなあ。)

このように、わたしの家でも地いきでも悪いことをふせぐためにたくさんの工夫をしているのです。

これから大人になるわたし達は、たくさんの防犯について学び、今までいじょうに工夫をして、自分達を守っていかなければならないと思います。

防犯のあい言葉は、

「工夫」

「協力」

です。

安心してらせる地いきになってほしいです。